

⑭まちづくりワークショップ(北栄町)

長曾我部まどかさん(37)
鳥取大工学部准教授

まちづくりに大切なのは「学びの場と仲間づくり、そしてアイデア」。2018年に北栄町に移住し、町民が未来や夢を語り、成功体験がかなう場所の構築に力を注ぐ。

専門は暮らしの環境形成など社会学的な要素も多く、移住した翌年に住民参加型のワークショップ「ほくえい未来トーク」の企画に参加。本番で漂う会場の熱気に「このまま終わるのはもったいない」と感じ、参加者から掛けられた「町全体を実験場にしてみて



住民とつくるまちの未来

地域づくりに関わる若者の育成に力を入れる長曾我部さん(中央奥)



は」という言葉をヒントにプロジェクトを始動した。22年には、人材育成を目的に役場職員と「北栄町の未来を創る研究所(ほくらぼ)」を創設。さらに、ラボで広がった仲間の輪で「つながる学校プロジェクト(23年)へと連動させ、地元の高校生や小中学生と

一緒に、子どもたちの「やってみよう」の実現と居場所づくりにつなげている。「さまざまながりが活動の場を生み、スピノフ作品のように広がっていく」。学びの場で集まったアイデアを洗練し、応援してくれる仲間が自治体を動かす力となる。「まだまだ実験の途中」。自身が考える持続可能なまちづくりは始まったばかり。

若者と取り組む地域づくりについて、関わり方やアプローチ方法などのポイントを解説するオンライン交流会(とっとり県民活動活性化センター主催、2月18日午後2時)に登壇予定で、参加者を募集中。



申し込み専用
フォーム